

住民が建てて使うケア付き住宅 「風の丘」は 「地域包括ケア」を体現



※「高齢者住宅」ケア付き住宅「風の丘」

住み慣れた地域で最期まで暮らし続ける——。この地域包括ケアシステムの考え方を見事に成し遂げた住宅団地がある。それも社会福祉法人や大企業でなく地元住民が主導。地域に根付いた実践モデルだ。

国家公務員共済組合が1965年に開発した愛甲原住宅。神奈川県伊勢原市と厚木市にまたがる約900戸の戸建ての住宅団地である。ここに4本の玄関柱が目を引く洒落た「風の丘」が建つ。

2階建て14室の住宅型有料老人ホームである。1階には介護保険の小規模多機能型居宅介護(小多機)の通所スペースがあり、老人ホーム入居者のほか地域住民が集う。運営するのは住民たちのNPO法人「一期一会」。

同法人は、団地の商店街で通所介護の「デイ愛甲原」、居宅介護支援事業所、それに、保険外のコミュニティカフェ「CoCoてらす」も手掛ける。いずれも空き店舗を改造した。

これらの事業所を高齡住民がそれぞれの好みや心身の状況に応じて利用している。終末期を迎えても、入院ではなく、風の丘で暮らし続けて人生の幕を閉じる人たちが多い。2006年4月に開設した風の丘の累計入居者は60人近い。これまでの死亡者35人の6割強に達する22人が自室で旅立った。国全体では病院死が7割を占めるのに。

「最期までこの愛甲原住宅で」という津崎さんの思いを引き継いだNPO法人。住民による、住民のためのケアサービスの創出活動であり、まちづくり活動といえるだろう。

終末期を過ごせる施設は近年増加している。介護施設の相談は弊社までお気軽にご相談ください。

～介護ビジネス研究会のご案内～

日時：2022年9月20日(火) 14:00～15:30

会場：じゅうろくプラザ5階 小会議室①

岐阜市橋本町1-10-11

内容：資格者人財の採用はこれで十分！

紹介会社に頼らない最新の採用手法を徹底解説

事業計画を実現する資格者採用の最前線

講師：船井総合研究所

介護ビジネス研究会

※定員10名



岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当：苅谷

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL:0120-337-301

FAX:0575-24-5733

<http://www.koreisyajutaku.jp>

[mail:kariya@nodakensetsu.co.jp](mailto:kariya@nodakensetsu.co.jp)

お問合せは
コチラまで

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内
不要